

ニチダイ (コード 6467)

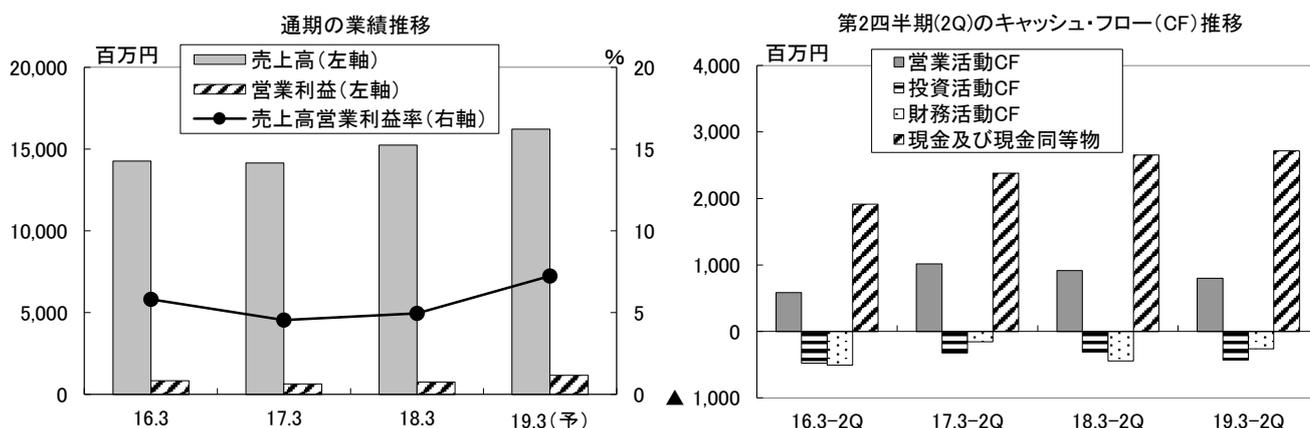
◆各決算期の第2四半期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
16.3	7,166	441	31.6	10.0	585	▲479	▲506	1,915
17.3	6,790	175	7.2	10.0	1,015	▲325	▲157	2,379
18.3	7,378	326	23.9	8.0	917	▲311	▲441	2,655
19.3	8,400	652	48.7	10.0	798	▲431	▲261	2,718

◆通期業績推移(連結) (19.3 予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
16.3	14,264	828	53.7	20.0	1,074	▲692	▲664	1,964
17.3	14,147	642	46.9	20.0	1,801	▲581	▲691	2,478
18.3	15,248	755	57.7	18.0	1,483	▲568	▲798	2,665
19.3予	16,220	1,173	87.3	20.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



19年3月期第2四半期の業績概況…19年3月期の第2四半期累計期間(18年4~9月)の業績は、売上高84億円(前年同期比13.9%増)、営業利益6億5,200万円(同100.0%増)、経常利益6億6,600万円(同96.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億4,000万円(同103.4%増)となった。セグメント別ではネットシェイプ事業が好調に推移したほか、アッセンブリ、フィルタの両事業も売上を伸ばし、大幅な増収増益になった。1株当たりの第2四半期末配当金は前年同期末実績から2円増えて10円となっている。

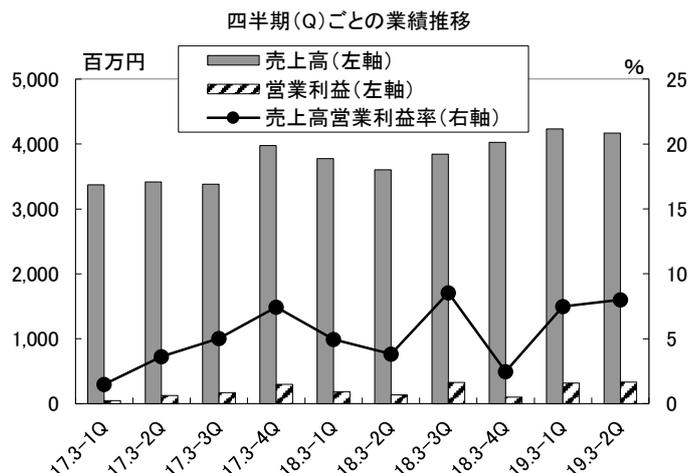
事業別売上高では、ネットシェイプ事業が39億8,300万円(同19.1%増)、アッセンブリ事業が31億2,700万円(同2.5%増)、フィルタ事業が12億8,800万円(同31.2%増)となった。ネットシェイプ事業のうち、国内が28億4,100万円(同18.6%増)、海外が11億4,200万円(同20.4%増)に、アッセンブリ事業のうち、国内が15億1,800万円(同16.2%増)、海外が16億900万円(同7.8%減)に、フィルタ事業のうち、国内が10億6,700万円(同51.8%増)、海外が2億2,100万円(同20.8%減)になった。ネットシェイプ事業において、金型部門で主力ユーザー向けが、精密鍛造品部門で国内外両拠点においてカーエアコン用スクロール鍛造品がそれぞれ堅調に推移した。アッセンブリ事業では、VGターボチャージャー部品の新機種が生産が開始され、機種構成に変化はあるものの、VGターボチャージャー部品及びWGターボチャージャー部品ともに、前年とほぼ同水準の売上高で推移した。フィルタ事業では、第1四半期(18年4~6月)の電力産業向け特需に加え、ヘルスケア製品向けなどが好調に推移した。

利益面では、事業別の売上高経常利益率が、ネットシェイプ事業で9.8%（前年同期は2.9%）、フィルタ事業で8.7%（同8.0%）へ上昇した一方、アッセンブリ事業では5.3%（同5.4%）へ低下した。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当四半期末の現金及び現金同等物残高は27億1,800万円（前年同期末比2.4%増）に拡大した。営業活動CFでは、税金等調整前四半期純利益が6億6,600万円（前年同期比97.0%増）、減価償却費が4億2,600万円（同0.2%減）、売上債権の増加額が3億7,700万円（前年同期は減少額2億500万円）、たな卸資産の増加額が7,400万円（前年同期比41.7%減）、仕入債務の増加額が1億9,600万円（同1,300.0%増）、法人税等の支払額が1億6,000万円（同64.9%増）となったことなどにより、営業活動に伴う収入は7億9,800万円（同13.0%減）に減少した。投資活動CFでは、有形固定資産の取得による支出が3億3,600万円（同36.6%増）となったことなどにより、投資活動に伴う支出は4億3,100万円（同38.6%増）に増加。財務活動CFでは、短期借入金の純減額が2億円（同5.3%増）、長期借入金の借入れ・返済による差引収入が1億8,200万円（前年同期は400万円）、リース債務の返済による支出が1億5,100万円（前年同期比6.8%減）、配当金の支払額が8,900万円（同2.2%減）となったことなどにより、財務活動に伴う支出は2億6,100万円（同40.8%減）に減少した。

19年3月期の通期業績見通し…19年3月期の通期業績については、売上高162億2,000万円（前期比6.4%増）、営業利益11億7,300万円（同55.3%増）、経常利益11億8,700万円（同52.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益（以下、当期純利益）7億9,000万円（同51.2%増）の見通しで、18年5月1日時点の会社側発表値（売上高157億円、営業利益9億6,000万円、経常利益9億5,000万円、当期純利益6億3,000万円）から同年10月17日付けで増額修正されている。1株当たりの年間配当金は、前期実績に比べて2円増の20円の予定。

事業別の売上高予想についても18年5月1日時点での会社側発表値から増額修正されており、ネットシェイプ事業が76億6,000万円（同6.8%増。修正前74億円）、アッセンブリ事業が61億3,000万円（同3.6%増。修正前59億円）、フィルタ事業が24億3,000万円（同12.4%増。修正前24億円）となっている。会社側では下半期（18年10月～19年3月）の状況として、ネットシェイプ事業では上半期に引き続き金型部門の主力ユーザーが堅調に推移する見通しとしており、アッセンブリ事業では上半期に生産が開始された新機種の高売上がけん引することを見込んでいる。フィルタ事業では、下半期についても上半期と同様の水準で推移する見込み、としている。



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。